

10th Anniversary



しろね図書館だより

~ Since 2000 ~
No. 126

発行 新潟市立白根図書館
新潟市南区田中383 電話 (025) 372-5510
平成22年11月発行

ようやく暑さから解放されたかと思ったら、早くも白鳥の便りを聞く季節になりました。澄んだ空気も心地よい秋の夜長のお供に、たくさんのお楽しみの中から、あえて本を手にとってくれたあなたに、ありがとうを——。10月27日から11月9日までの2週間は「読書週間」。今回の標語は「気がつけば、もう降りる駅。」だそうです。このあたりに駅はありませんけど、ページをめくって物語の列車に乗ったら最後、途中下車も忘れて終点まで突っ走る、そんな体験してみませんか。

かいじゅうトゲトゲ

かいじゅうのトゲトゲがないているおんなのこをたすけてあげたのがおもしろかったです もえより

すりすりももんちゃん

すりすりといよこときんぎょでねすみといぬとさほてんがももんちゃんにやったところがおもしろかった ゆきより

いしとららの
スイートポテト

こんかい、いしとららがつくるおかしは、スイートポテト！ほかに、さつまいものココアボールもってま〜すよぜひ、みてください！ちひろより

うきばちです

のっぺらぼうをういたらめがでて、はがはえたりして、たじろれがおもしろかったですみずほより

みんなが、お気にいりの1冊を教えてくれたよ。ひさしぶりに紹介するね。

※展示架のポストに投稿いただいたおたよりの一部です。ときどきご紹介させていただきますので、どしどしおたよりください。

おならばんざい

いろいろながおならをするのがおもしろかったですくるみより

ホラーバス

すこしこわいけど、とてもおもしろくてずーっとよんでいたかったですまなみより

みんなのおススメ！

My Favorites

絵本

の並びかたが
かわりました

絵本は今まで【題名のアイウエオ順】で並んでいましたが、10月からは【絵を描いた人の苗字のアイウエオ順】にしてみました。背ラベルに書かれたカタカナを参考にさがしてみましょ。

絵を描いた人がわかるとき

並んでいる本の背ラベルを「ア」から順に追ってさがしてみましょ

本の名前がわかるとき

柱のところにあるパソコンで調べてみましょう。メモしなくても、レシートを印刷することもできますよ

よくわからない・みつからないとき

どうぞ遠慮なく、スタッフにおたずねください。レシートがあると、よりスムーズにご用意できます

たとえば……

- ①『とうふさんがね…』 絵：とよたかずひこ → Eト
- ②『にゃんにゃん』 絵：長野ヒデ子 → Eナ
- ③『ふたりはともだち』 絵：アーノルド・ローベル → Eロ



猛暑だった夏、秋はいつ来るのだろうと思っていましたが、あっという間に秋・冬がやってきて、帰り道、早くなった夜を確認するように空を見上げることが多くなりました。その澄んだ空気の夜空に瞬く星を見つけると、思わず足を止め眺めてしまいます。今回おすすめするのは、そんな夜空をみるのが楽しみになるかもしれない「天の羊」です。

天の羊

星と月のフォトエッセイ

4月の章では海に沈む太陽の写真も紹介されています。エッセイを読み、以前「海に沈む夕日を見よう！」と夕方日本海にむかってドライブしたことを思い出しました。その時は残念ながら夕日は海に沈む直前に雲に隠れてしまいました。その後も数回夕方の海を眺めるチャンスはあったものの、結局水平線に



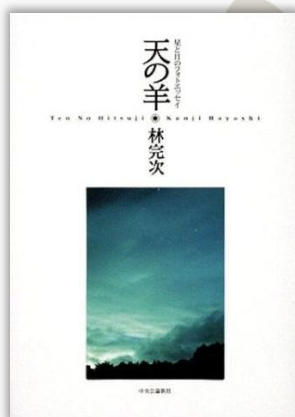
T e n N o H i t s u j i



K a n j i H a y a s h i

サブタイトルにもあるように「星と月のフォトエッセイ」で、1月から12月までの章に分かれて綺麗な空の写真とそれにまつわるエッセイが載っています。例えば1月の「雑煮」ではお正月の雑煮のことが書かれており、旧正月のころ、ふたご座が東の空高くかかり、カストルとボレックスが目につくとあります。子どもの頃、プラネタリウムを観た帰りに祖父母から星座の本を買ってもらったことなどを思い出しながらエッセイを読みすすむと、日本の静岡や瀬戸内海でのこの星の呼び名が載っていて、ちょっと意外な気がしました。星・星座の名前、言い伝えなどは、なんとなく外国のものというイメージを持つのですが、よく考えれば星は世界共通、地球上の人たちが昔から見ていたもの。日本でも独自の呼び名があっても不思議ではないのです。

林完次



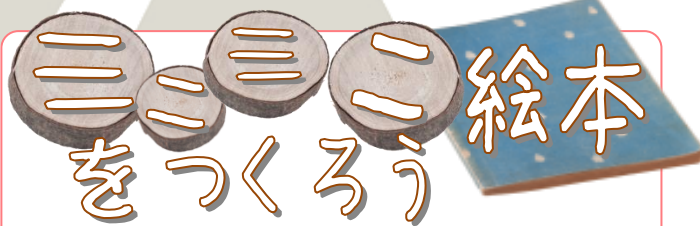
中央公論新社
440ハ

沈む太陽を見ることはできませんでした。しかし、古くなった記憶を掘りおこすと中学生の夏休み、まさに水平線に沈んでいくオレンジ色の太陽を見たことがあったのです。その時は「きれいだなー」となんとなく眺めていましたが、天候や時間的な条件というよりも、海に行く機会自体が少ない今、貴重なものを見たのだなあとしみじみ思うのです。もしかしたら今日これから見る景色も貴重なものかも知れません。あわただしく過ぎ、空を見上げるほどの余裕がない時でも、雲に覆われて地上から見えない時でも、その上には宇宙の星・月が輝いていると思うと心が安らぐ気がしませんか。この本の写真で自分がいつか見た空を思い出し、懐かしい記憶がよみがえってくるかもしれません。星座がわかるよう同じ写真が別に載っているので、夜空の写真とその図（写真）を見比べ、星座を見つける楽しさも味わえる一冊です。

【学校との連携】読書の秋 図書館を体験！



白根図書館では図書館見学や中高生の職場体験を随時受け入れています。10月14日は、潟東中3年生2名が職場体験でカウンター業務を行っているところに、近くの小林小2年生が来館し本を借りていきました。一般の方に混じって、マナーよく大変立派な態度で利用していました。



手のひらに乗るくらいの小さな絵本をつくります。汚れてもよい服装でおいでください。

- 日時** 11月14日(日) 10:00~12:00
- 会場** 白根学習館 創作活動室2
- 対象** どなたでも20名まで(申込順)
- その他** 参加費無料。申込が必要です。

お問い合わせは電話372-5510まで。

読書会は、みんなで同じ本を読んで、思ったことをおしゃべりする楽しい集まりです。

平成22年10月17日(日) 午後2時

赤羽末吉の絵本

【参加者】4名



赤羽末吉さんは、1910年に東京神田に生まれる。1932年から1947年まで旧満州で生活。1961年に『かさじぞう』で絵本作家としてデビュー。1980年に『国際アンデルセン賞画家賞受賞。1990年永眠。』

★ 参加者の感想から ★★

◆ 小学校2年生の国語の教科書に『スーホの白い馬』が取り上げられているが、絵は違う方が描いている。赤羽さんの横長の絵本が強く印象に残っている。この絵本をすすめたい。

◆ 『かさじぞう』瀬田貞二の文章で語るが、「雪がもかもか降ってくる」という場面が好き。でも、大阪の人には、その言葉では実感が無い。

◆ 『かさじぞう』と『つるにようぼう』では、雪が違う。赤羽さんは、雪を描きたくて取材している。描かれている風土、湿度が違う。それぞれ違う和紙で描いている。にじみ具合が違うそうだ。

◆ 『つるにようぼう』の最後の鶴が空高く飛んでいく場面が好き。絵がとっても美しい。

◆ 『つぶじいさま』『つぶが額』についている。類だとはかり思っていた。文章を確認したら、やはり額になっている。

◆ 先日『おおきなおおきなおいも』を小学校2年生に読み聞かせたが、大笑いしていた。生活科で野菜を栽培しているとのこと。こんな大きな野菜が取れるといいね、と言って帰った。

◆ 学校へ読み聞かせに行っているが、教科書に載っている本を注意して見ているか？

↓ 先生とは違う立場で行っているの、基本的には、好きな本、読みたい本を読んでいる。教科書はそれほど意識しない。本の楽しさを伝えたい。

◆ 『おへそがえるくん』も、おもしろい。絵巻の『鳥獣戯画』のようなのびのびしたユーモラスな絵で、子どもと一緒に何度も楽しんだ。今、購入できないのが残念だ。

◆ 絵本だけではなく、エッセイ集『絵本よもやま話』『私の絵本論』も興味深い。『私の絵本論』からアンデルセン賞授賞式挨拶の一部を紹介。

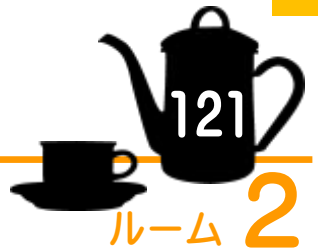
「私は絵本をかきだして20年になります。私の絵本の特徴は、日本の古い伝統的な美術の美しさに現代的な解釈を加えたものを、次の世代の子どもに伝えたいという気持ちで強く働いたものです」

「私は今年70歳になります。今ようやく調子ができました。この調子でゆくと80歳から90歳にかけていい仕事ができるのではないかと思います。世界のみなさん、どうぞ長生きして私の仕事をみてくださーい」

(安東)

次回の読書会

11月21日(日) 14:00~



われわれが過去から受けつぐべきものは、ペースで、未来に目指すべきはユーモア。

星新一の世界

11月は「ショートショート神様」として知られる作家・星新一の作品についてトークします。1001編をこえる作品を残す偉業を成し遂げた星新一。独特の発想、ウィットとユーモアにあふれ、そして、ちょっと毒のある作品の数々。世代や国境を超えて愛され続けています。『ポッコちゃん』、『悪魔のいる天国』、『おせっかいな神々』などなど、星の数ほどの作品のなかから、どれでもお好きなものをどうぞ。

子どもたちといっしょに

子どもと一緒に楽しめる、
電車の絵本を3冊紹介します。

でんしゃはうたう

三宮麻由子 ぶん／みねおみつ え／福音館書店



“とろるるー 「はっしやまあす」 小さな男の子がお母さんと一緒に電車の先頭に乗込みます。“たっ たっ たっ たっ たっ たっ たっ たっ” リズミカルで変化ご富んだ音を、思い切り電車らしく声に出して読んでください。伸びる線路、広がる沿線の風景、一駅ごとの小さな旅ですが、大満足です。



でんしゃえほん

井上洋介作／ビリケン出版



“かぶとむしでんしゃ”に“ドーナツでんしゃ”、おしまいよ…。ページをめくるとに靡可不思議な電車が現れてびっくり。「あったらすごいな」「乗りたくないよ」「乗っている人も変！」変な電車の絵を見ているだけで、なんだか愉快になります。

がたごとがたごと

内田麟太郎文／西村繁男絵／童心社



大勢のお客が電車に乗り、がたごと がたごと。おくやま駅につくと、あれあれ、乗っていた人たちが、動物か変わっています。黒い衣服姿はキツネ夫婦、青い帽子の少年は子犬君でしょうか。最初のページとじっくり見比べてください。

秋の夜長

映画原作本特集



今月の展示架

■ 展示期間 11/3 → 11/30

読んでから観る？ それとも観てから読む？
ページをめくれば、あなただけの特別シアターにご案内。
全●が泣いた！ 興奮した！ 感動の渦に包まれた！
秋も深まるこの季節、あうちちくつろぎながら、
銀幕のあのワクワク感を活字でもお楽しみください。

映画と原作、どっちが面白かった？
あなた一票を投票してもらおう、特別企画も実施中です★

11/3～11/27の行事

- 11月3日(水)
文化の日のため特別に開館
スペシャルおはなし会
- 11月6日(土)
読み聞かせ講習会②
絵本のじかん 14:10～
おはなし会 14:30～
- 11月7日(日)
絵本・物語に出てくるおやつ作り
- 11月13日(土)
おはなし会 10:00～
読み聞かせ講習会③
絵本のじかん 14:10～
おはなし会 14:30～

- 11月14日(日)
ミニミニ絵本をつくろう
- 11月20日(土)
絵本のじかん 14:10～
おはなし会 14:30～
- 11月21日(日)
読書会(ル42) 14:00～
- 11月25日(木)
雑誌リサイクル 10:00～
- 11月27日(土)
おはなし会 10:00～
絵本のじかん 14:10～
おはなし会 14:30～

11月のブックバス

- ★ 11月4日～11月30日までの予定を載せています。
- ★ 巡回日-/-の箇所(11/4 新飯田小、11/8 根岸小、11/23 小林小・白根小、11/10 白井小)は運休します。
- ★ 冬のあいだは運休します。2月28日から運行再開です。

コース	学校	停車時間	巡回日
月A	庄瀬小学校	12:55～13:35	11/15 11/29
火A	大通小学校	12:50～13:30	11/16 11/30
木A	新飯田小学校	10:10～10:30	-/- 11/18
	味方小学校	13:15～13:45	11/4 11/18
月B	根岸小学校	児童限定	-/- 11/22
火B	小林小学校	児童限定	11/9 -/-
	白根小学校	13:00～13:40	11/9 -/-
水B	白井小学校	13:00～13:30	-/- 11/24
木B	茨曾根小学校	10:15～10:35	11/11 11/25
	大鷲小学校	児童限定	11/11 11/25

10月の来館者数……16,414人 統計上の都合により、前号より貸出冊数などのお知らせは終了させていただきます。